

安全データシート

作成日 2010 年 7 月 2 日

改訂日 2021 年 7 月 1 日

1. 製品及び会社情報

化学品の名称 アサヒボンド700P A液
会社名 アサヒボンド工業株式会社
住所 東京都板橋区大谷口北町3-7
担当部門 営業部
電話番号 03-3972-4929
Fax 番号 03-3972-4583
緊急連絡電話番号 営業部;03-3972-4929
推奨用途及び使用上の制限: モルタルやコンクリートの下地調整に限る。
整理番号 10031

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分に外当しない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分4
	急性毒性(経皮)	区分4
	急性毒性(蒸気)	区分4
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分3
	水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない

* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

(H302)飲み込むと有害
(H312)皮膚に接触すると有害
(H332)吸入すると有害
(H402)水生生物に有害
(P261)粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレートの吸入を避けること。
(P264)取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと。
(P270)この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
(P271)屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
(P273)環境への放出を避けること。
(P280)保護手袋および保護衣を着用すること。
(P301+P312)飲み込んだ場合: 気分が悪いときには毒物センターまたは医師に連絡すること。
(P302+P352)皮膚に付着した場合: 多量の石鹸と水で洗うこと。
(P304+P340)吸入した場合: 被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
(P330)口をすすぐこと。
(P362+P364)汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
(P501)内容物/容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄依頼すること。

注意書き

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

化学品又は一般名

混合物

水分散系ビスフェノールA型固形エポキシ樹脂

危険有害成分	濃度又は濃度範囲	CAS番号	官報公示整理番号
ビスフェノール A 型エポキシ樹脂(固形)	24~29	25068-38-6	(7)-1283
界面活性剤	0.3~3	非公開	非公開
プロピレングリコールモノ	0.5~3	107-98-2,1320-67-8	(2)-404,(7)-97
メチルエーテル			
ベンジルアルコール	0.5~3	100-51-6	(3)-1011
ビスフェノール A 型エポキシ樹脂(液状)	0.6>	25068-38-6	(7)-1279
水		7732-18-5	対象外

4. 応急措置

吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚を多量の水で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な特徴症状	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。めまい。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の保護具を着用すること。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

不燃性である。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外は近づけさせない。 作業者は適切な保護具を着用し、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 密閉された場所は換気する。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境中へ影響を起こさないように注意する。 環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏れを止める。
二次災害の防止策	排水溝、下水溝、地下室、あるいは狭い場所への流入を防ぐ。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	
技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用すること
安全取扱い注意事項	保護手袋を着用すること。 ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 環境への放出を避けること。
接触回避 衛生対策	「10. 安定性及び反応性」を参照。 取り扱い後、手や顔をよく洗い、うがいをする。
保管	
安全な保管条件	直射日光を避けること。酸化剤、酸から離して保管する。
安全な容器包装材料	容器を密閉して、5℃以上35℃以下の風通しのよいところで保管すること。 ポリ容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	
日本産衛学会(2007年版)	ベンジルアルコール 25mg/m ³
ACGIH(2007年版)	プロピレングリコールモノメチルエーテル TLV-TWA 50ppm プロピレングリコールモノメチルエーテル TLV-STEL 100ppm
設備対策	取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。充分換気のある場所や局所換気(排気)装置を設けることによりばく露を抑えること。
保護具	
呼吸用保護具	防毒マスク
手の保護具	耐水性(不浸透性)の手袋
眼、顔面用保護具	サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。保護靴または長靴。
特別な注意事項	取り扱い後、手や顔をよく洗い、うがいをする。 汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観、色	乳白色、水のような低粘度液体
臭い	無臭
pH	7
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	該当しない
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	検出できない
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
動粘性率	動粘度(40℃);データなし

溶解度	水に可溶
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	比重;1.0～1.1 (23℃/4℃)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	アミン化合物と穏やかに反応する。
化学的安定性	通常の取扱い条件下で安定である。
危険有害性反応可能性	通常の使用条件下では安定である。
避けるべき条件	継続的な高温状態 (50℃以上)、低温状態 (5℃以下)
混触禁止物質	エポキシ樹脂硬化剤、強塩基 (強アルカリ) 類、強酸類、酸化剤、過酸化物。
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、低分子有機化合物 (構造不明) と推察される。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	区分4 以下の区分の急性毒性の物質を含む。 区分に外当しない プロピレングリコールモノメチルエーテル ラット LD ₅₀ 5000mg/kg 区分4 ベンジルアルコール ラット LD ₅₀ 1230mg/kg 原料メーカー報告より区分4 とした。
	経皮	区分4 区分に外当しない プロピレングリコールモノメチルエーテル ウサギ LD ₅₀ 13000mg/kg ¹⁾ 区分4 ベンジルアルコール ウサギ LD ₅₀ 1700mg/kg ²⁾ 原料メーカー報告より区分4 とした。
皮膚腐食性/刺激性		分類できない 以下の区分の皮膚腐食性/刺激性の物質を含む。 区分3 プロピレングリコールモノメチルエーテル 区分に外当しない ベンジルアルコール 原料メーカー報告より分類できないとした。
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性		分類できない 以下の区分の眼に対する重篤な損傷/眼刺激性の物質を含む。 区分2 プロピレングリコールモノメチルエーテル 区分2 ベンジルアルコール; OECD TG405 で中程度の刺激性とされ区分2。 原料メーカー報告より分類できないとした。
生殖細胞変異原性		分類できない 区分に外当しない プロピレングリコールモノメチルエーテル; マウスでの小核試験で陰性。エームズ試験も陰性。チャイニーズハムスターでの染色体異常及び小核試験のいずれも陰性との報告あり。 分類できない ベンジルアルコール 原料メーカー報告より分類できないとした。
発がん性		分類できない 区分に外当しない プロピレングリコールモノメチルエーテル 分類できない ベンジルアルコール; 国内外の分類機関による分類結果がない。
生殖毒性		分類できない 区分に外当しない プロピレングリコールモノメチルエーテル 分類できない ベンジルアルコール; データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)		分類できない 区分3 (麻酔作用) プロピレングリコールモノメチルエーテル 区分1 (中枢神経系、腎臓)、区分3 (麻酔作用) ベンジルアルコール; ヒト及び動物の知見より区分が報告されている。 原料メーカー報告より分類できないとした。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)		分類できない 区分に外当しない プロピレングリコールモノメチルエーテル 区分1 (中枢神経系) ベンジルアルコール; ヒト小児への静脈内投与により中枢神経系への影響があるとされる。 原料メーカー報告より分類できないとした。
誤えん有害性		分類できない データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水性環境有害性 短期(急性) 区分3

以下の区分の水性環境急性有害性の物質を含む。

区分に外当しない プロピレングリコールモノメチルエーテル

甲殻類 オオミジンコ EC₅₀(48 時間) 500mg/L
水溶解度 106mg/L

ベンジルアルコール

甲殻類 オオミジンコ EC₅₀(48 時間) >500mg/L
藻類 Algae EC50(4 時間)2600mg/L

原料メーカー報告より区分3 とした。

水性環境有害性 長期(慢性) 分類できない

以下の区分の水性環境慢性有害性の物質を含む。

区分に外当しない プロピレングリコールモノメチルエーテル

区分に外当しない ベンジルアルコール

原料メーカー報告より分類できないとした。

残留性・分解性

プロピレングリコールモノメチルエーテル； データなし
ベンジルアルコール；急速分解性あり。

生態蓄積性

プロピレングリコールモノメチルエーテル； データなし
ベンジルアルコール；生態蓄積性は低いとされる。

土壌中の移動性

ベンジルアルコール；データなし

オゾン層への有害性

本製品はモントリオール議定書の付属書にリストアップされていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄処理業者、もしくは地方公共団体が
その処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理
を委託する。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切
な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号

該当しない。

品名(国連輸送名)

該当しない。

国連分類

該当しない。

容器等級

該当しない。

海洋汚染物質

該当する(ビスフェノールAエピクロロヒドリン樹脂)

国内規制

陸上規制情報

消防法の規定に従う。

海上規制情報

非危険物

航空規制情報

非危険物

特別の安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの
防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

15. 適用法令

消防法

非危険物

化審法

優先評価化学物質； 4,4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパンの
重縮合物

労働安全衛生法

名称等を通知すべき有害物； プロピレングリコールモノメチルエーテル
ベンジルアルコール
名称等を通知すべき有害物； プロピレングリコールモノメチルエーテル
ベンジルアルコール

労働基準法

疾病化学物質(法 75 条 2 項)； ビスフェノール A 型エポキシ樹脂

海洋汚染防止法

感作性を有するもの(基発第 182 号、平成 8 年 3 月 29 日)； ビスフェノール A 型エポキシ樹脂

輸出入貿易管理令

X類物質； ビスフェノールAエピクロロヒドリン樹脂
別表第1の 16 項(キャッチオール規制)に該当する。

16. その他の情報

F☆☆☆☆登録(JAIA-008059)、4VOC 基準適合登録(JAIA-400360)

参考文献

- | | |
|----------------------|----------|
| 1) 原料メーカー発行の安全データシート | 各原料メーカー |
| 2) JIS Z 7252 及び7253 | 日本規格協会発行 |
| 3) 日化協「緊急時応急措置指針」 | |

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保障をなすものではありません。また、注意事項は通常取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。